

山城国相楽郡高麗村 椿井大塚山古墳調査略報

樋口 隆 康

山城盆地の南端、東方から流れでてきた木津川が木津町辺で北轉するところから北方約二軒の東方山寄りに高麗村椿井の部落がある。その部落の東辺に北から南へかけて三基の古墳が相並び、北の二つは共に西向きの前方後円墳であるが、現在その中央辺を国鉄奈良線が切斷している。この最北のものが大塚山である。本年二月初めから国鉄当局が、その切斷面の法面改良工事を行った際、石室が発見され、なから古鏡片を主とする遺物が多数出土した。それを機会に三月二六日から約一週間を費し京都大学考古学教室員の手でこの古墳の調査を行ったので、その結果を簡単に報告しておく。

古墳は東南から北西へ延びてきた台地の先端を利用して築かれてをり、東端は台地との間に凹地があつて盛土を採掘したところらしく、よく原状を留めているが、西方の前方部は人家が立並んでいて、もとの形を推し難いまでになつてゐる。従つて古墳の大きさも正しく

山城国相楽郡高麗村椿井大塚山古墳調査略報（樋口）

は究め難いが、全長約二百米近く、後円部は径八十米、高さは東辺の凹地から十一米位はある。前方部は地盤の下向に順つてかなり低い、しかして盛土は後円部の上方に一部存するだけであつて、厚さ四米位ある。

石室は後円部の中央辺に主軸とほぼ直角に當まれ、下底を地盤上におき、全体が盛土で覆われ、頂辺から天井石まで約一・五米ある。石室の構造は細長い堅穴式石室であるが、用材として板石のほかに花崗岩を混用し、これが崩壊し易いために両側壁の中央部は内方へ傾いている。しかし下底面はよく残り、内法縦六・八米、横一・一米前後の長方形をなしている。床面はすでに人夫によつて乱掘されてしまつていたが、木棺片や朱の塊が遺棄されていたところからすると、内部は比較的よく遺存していたもの様である。床面は全体として北が高く、南に傾斜しているが、地山の上に板石を全面に二段敷きつめ、その上に河原石と砂の二層があり、地面めと排水の便はかかつてゐる。その上に厚さ二五糎の粘土の平たい台があつて上に酸化鉄を塗つてある。これに棺がおかれ周囲を朱と粘土で囲つたらしいが、現在この粘土の部分は石室の両端に僅か遺存しているだけで詳細は判らない。石室の高さ三米近くあることは、この式の構造として異例をなすが、朱の痕跡は周壁の下から一米位までの高さ

に認められた。天井石はもと八枚あつたらしいが、南半分は取去られ現在北側の三枚が残りしかも側壁崩壊のため西へ傾いている。天井石にも上下両面に朱が附着していたようである。天井石の上には粗質の粘土がかなり厚く覆ひ、さらにその上に土が盛つてある。

副葬品の埋葬状態に関しては、すでに取去されて了つたあとなので、工事の現場主任であつた中谷与一氏に聞くと、遺物は両側壁に沿つて並んでをり、鏡は面を外にして壁面に立てかけ、その内方に鉄刀劍がおかれてあつたとのことである。しかしいちいちの遺物の出土地点についてはすでに全く不明といふほかはなかつた。われわれが南端の未掘部で確めたところでは、中央の主体部（粘土槨）と側壁とのあひだの空間に、中谷氏の説明の如き状態でおかれた鏡二面と鉄刀を發見した。また北端部に於ても北壁に接して鉄甲片の一部や、刀子、鉄斧、鉄鎌、鈍等が掘り残された部分に遺存していた。いま出土品の主な品目をあげると、鏡二七面、銅鏃五個、鉄鏃多数、鉄刀劍十数本、素環頭太刀一振、鉄槍数本、鉄刀子十数個、鉄鎌二個、鉄斧四個、鈍五個、鈍七、八本。鉄甲一領、その他不明鉄器類がある。

このうち最も注目されるの鏡であつて、すべてが舶載品であり、内行花文鏡二面、方格規矩四神鏡一面を除けば、他は三角縁神獸鏡

である。いまその名称をあげれば、次のとおりである。

1、内行花文鏡 径二七糎 手彫れている。

銘〔長宜子孫〕

2、鋸齒文縁方格規矩四神鏡 径一八・五糎 青龍を欠く。

銘〔羊作同竟甚大工上有山不知老服者長生買主壽〕

3、唐草文帯対列式四神四獸鏡 径二三・七糎

銘〔天王日月〕方格内に四字入れ六回線返している。

大和佐味田宝塚、及び播磨吉島古墳出土鏡と同型式。

4、有銘帯対列式四神四獸鏡 径約二四糎

銘〔□□□竟〕大巧上有仙人赤松……有鴻飲玉泉飢食聚……知……〕

5、対列式四神四獸鏡 径二二・三糎

〔吾作明竟幽律三岡 銅出徐州 潤鏤文章 配徳君子清而且明左 龍右虎伝世右名取者大吉保子宜孫〕

大和佐味田宝塚に同型鏡あり。

6、対列式四神四獸鏡 径二一・五糎

銘〔張是作竟甚大好上有仙……〕

宜孫位至□王買竟者富且昌〕

7、対列式四神四獸鏡 径約一九・七糎

銘〔吾作明竟甚大 工上有 王高八赤松師子天庶其□龍天下名好 世無變〕

豊前石塚山、河内万年山出土鏡と同型式

8、7と同型鏡

9、櫛目文帯対列式四神四獸鏡 無銘 径二二種

10、9と同型鏡

11、獸文帯対列式四神四獸鏡 無銘 径二一・八種

12、獸文帯対列式四神四獸鏡 径二二・二種

銘〔天王日月〕六回繰返し

13、獸文帯対列式四神四獸鏡 径二二・三種

銘〔天王日月〕八回繰返し
武蔵日吉加瀬山古墳出土鏡と同型式か

14、13と同型鏡

15、13と同型鏡

16、獸文帯交互式四神四獸鏡 径二三・二種

銘〔天王〕七回繰返し、〔日月〕一回。

17、獸文帯交互式四神四獸鏡 径二三種

銘〔天王日月〕四回繰返し

18、鋸歯文帯交互式四神四獸鏡 径約二三種

銘〔天王日月〕四回繰返し
豊前赤塚、山城長法寺古墳出土鏡と同型式。

19、獸文帯三神三獸鏡 径二二・五種

銘〔天王日月〕三回繰返し

豊前石塚山、同赤塚、筑前原口古墳出土鏡と同型

20、対列式三神五獸鏡 径二一・三種

銘〔吾作明竟甚大好上有神守及龍虎古有 聖人東王父西王母〕
飲王金服食鬚壽如金石

21、対列式三神五獸鏡 径二二・五種

銘〔張氏作鏡真巧仙人王高赤松子師子辟邪世少有鴻飲玉泉飢食 聚生如金石天相保兮〕

上野三本木古墳出土鏡及泉屋清賢二三と同型式。

22、交互式五神四獸鏡 径二二種

銘〔吾作明竟甚大好上有 東王父西王母 仙人王高赤松子鴻飲 玉泉几食聚千秋 万歳不知老兮〕

23、陳是作四神二獸鏡 径約二一・八種

銘〔陳是作竟甚大好上有 王父母左有倉龍右自虎宜遠道相保〕
相模大塚山古墳出土鏡と同型。

24、獸文帯二神二獸鏡 径二三種

銘〔天〕〔王〕〔日〕〔月〕

25、獸文帯重層式神獸鏡 径約二三種

銘〔天王日月〕七回繰返し
遠江平川出土鏡と同型。

山城国相楽郡高麗村椿井大塚山古墳調査略報〔樋口〕